

タイトル はだの都市農業支援センターによる融資の紹介

J A 名 J A はだの (神奈川県)

1 動機 (経緯)	秦野市の農業は、農業従事者の高齢化や後継者不足・鳥獣による農作物被害などによって荒廃農地の増加が懸念されていました。 そのため、秦野市・秦野市農業委員会・秦野市農業協同組合が効率的・効果的な農業支援体制について検討を重ね、農業従事者に対する支援体制を確立すべく同センターの立ち上げに至りました。
2 概要	秦野市および秦野市農業委員会とともに「はだの都市農業支援センター」を秦野市農業協同組合の本所に設置しました。 (人員体制：市4名、農業委員会1名、農協2名) 営農相談や指導をはじめ、担い手対策や遊休農地の解消方法などさまざまな相談の窓口の一本化を実現し、農業の活性化に向けた支援体制を確立しました。
3 成果 (効果)	・農業支援の総合窓口として様々な相談を受けており、その解決策として農業従事者への農業資金の提供に結びついています。 ・地域営農活性化モデル事業として、農業生産組合や農家グループ等地域や集落が一体となって実施する営農活性化への取組への支援、地域の状況に応じた支援により営農活動が活発化しております。
4 今後の予定 (課題)	一層、農業を活性化させるため、相談機能の強化・業務の効率化は不可欠であり、各母体とのワンフロアー化など組織・体制整備が課題となっております。

地区営農活性化体制に関する体系図(新)

